



## 実りの秋！ 子どもたちのがんばりが光っています

秋らしいさわやかな季節を迎えました。鼓笛パレードや陸上競技大会、秋の遠足などが楽しい思い出と共に終わり、子どもたちは落ち着いて学校生活を送っています。この間、子どもたちはいろいろな大会やコンクールに積極的に出品し、すばらしい成果を上げていますのでご紹介します。(紙面の関係で、対外的に学校として取りまとめたもの・練習したものなどを中心にご紹介します。ご了承ください。)

- 会津若松市小学校水泳競技大会 50M自由形 第4位 児玉 怜子 第5位 佐藤 圭子 (6年) 100M自由形 第1位 大関 宙 男子200Mリレー第9位 (柏崎 大樹・橋本 啓吾・平野 冬真・大関 宙)
- 会津若松市小学校陸上競技大会 男子100M 第9位 山口 海兜 (6年) 男子走り幅跳び 第9位 佐藤 広和 男子4×100MリレーAブロック第2位 (秋山 優斗・橋本 啓吾・大関 宙・山口 海兜) 女子4×100MリレーAブロック第1位 (寺山 藍・齋藤 蓮花・増井 美空・伊藤 華子)
- 少年の主張会津若松大会 優秀賞 6年 石倉 凛
- 世界児童画展 入選 4年 五島 寛道
- 理科学研究物展 銀賞 2年 大関 幸 6年 佐藤 賢之介 銅賞 2年 佐藤 優春 4年 五島 寛道 5年 仲田 海吾 6年 高橋 六花 藤谷 海斗
- 小野屋書道展 最優秀賞 4年 宮崎 真菜 優秀賞 1年 愛澤 華蓮 3年 愛澤 花凛 5年 齋藤 莉澄
- 第20回MOA美術館 全会津児童作品展 学校賞(2年連続) 児童作品国際交流賞 1年 橋本 太郎 福島県会津地方振興局長賞 6年 本名 悠一 ホタルの里をまもる会会長賞 福知 はな莉阿 金賞 1年 川原田 光生 3年 ファヨール 純一郎 5年 大竹 萌生 銀賞 1年 川本 真子 2年 鈴木 瑛太 2年 栗原 夢奈 5年 鈴木 詮基 6年 長原 真斗 5年 長谷川 瞭太 5年 谷川 愛歩 銅賞 1年 大林 昂平 5年 小野 寺彩月 1年 矢沢 成希 3年 玉川 愛菜 佳作 1年 佐藤 佳奈 6年 山口 優那
- 第22回大好きな会津絵画コンクール 会津若松市景観審議会会長賞 4年 宮崎 真菜 入選 4年 齋藤 亜衣 6年 大関 宙 高橋 六花
- 平成29年度 第60回会津若松市小・中学生読書感想文コンクール 特選 1年 小澤 琉那 準特選 3年 愛澤 花凛 5年 大竹 萌生 6年 高橋 亜花里
- 第62回福島県たなばた展 銀河賞 3年 愛澤 花凛 5年 齋藤 莉澄 奨励賞 4年 宮崎 真菜 6年 小林 陽菜 優秀学校賞
- JA共済県小・中学生第61回書道コンクール 銀賞 5年 齋藤 莉澄 佳作 1年 愛澤 華蓮 3年 愛澤 花凛



**福島とベトナム 交流が楽しみに**

会津若松市・ロイヤルシャーン (小学生 11) 「先月末の福島民報に、『最多30便チャーター』という記事がのっていま...」

「記事にはベトナムと福島空港のことが書いてあります。ベトナムと福島を結ぶことも書いてありました。」

「な」と思いました。その理由は、ベトナムで日本の商品が売られていたり、コラレーションしているからです。県産のナシをベトナムの人が食べているのを、おもしろいと思いました。」

記事に出てくる「ベトナム」が、百九十九人乗りの最新機材でチャーター便を飛ばし、行ったり来たりします。福島では「福島ツーリストサービス」が旅行をまと

「福島の人々がベトナムに行ったり、ベトナムの人が福島に来たりできる、いろいろな人が利用できるのです。ベトナムの人が福島に来てくれたら、うれしいと思いました。」

「これからは、ベトナムの人だけでなく、ほかの外国人が福島県に来て、有名な食べ物を楽しんだり、交流したりしてほしいと思います。」

**ふっ活の花火に 協力大切と学ぶ**

会津若松市・谷川 愛瑛 (小学生 10)

新聞を読んでいたら、カラフルな花火の写真が目にとまりました。それは「夜空彩る大輪 7年ぶり咲く」という見出しが付けられていました。飯館村大倉のほやま湖で開かれた花火大会の写真でした。私は花火が大好きです。七年前までは、「森と湖まつり」の前夜祭として花火大会が開き、されていました。東京電力

福島第一原発事故によるひなん指示が出されてから、中止になっていたそうです。せっかく楽しみにしていた人もいるのに中止になるなんて、いやだなと思いました。」

しかし、今年三月末にひなん指示が解除されてから、住民がつくる実行委員会が、ふっ活させようと企画し、じゅんびしてきたそうです。」

記事を読んで、私もこれからは、飯館村の住民の方々に、自分のできることは何かを考えて、いろんな人と力を合わせていきたいと思いました。」

**五輪ナンバーで 意識を高めよう**

会津若松市・清田 杏奈 (小学生 12)

五輪を記念した、車のナンバプレートについての記事を、先日の新聞で読みました。東京五輪・パラリンピックを記念した物を作ることはいいことだと思いましたが、五輪まであと三年弱で、

「確かに、ナンバプレートを作るには、お金がかかります。でも、実際に行えば、お金では買えない、心を一つにするという喜びが得られると思います。だから、記念のナンバプレートを作ること、人々が五輪のことを意識するきっかけになるといいと思います。」